



法人ホームページ
＞採用情報ページ



京都福祉サービス協会
魅力発信【公式】
Instagram

「人と京都と」就職フェア最前線

2025年1月30日（木）13:00～ マイナビ就職フェア2025 みやこメッセ

2026年卒の学生の採用活動がスタートしています。先日は就活直前フェアで、早期から就職活動に向けて動き始めている学生さんに向けて、インターンシップや職場体験を紹介するイベントに参加してきました。最近の学生さんはとても慎重に職場選びをされる傾向にあり、インターンシップなどを積極的に経験し、そこで見聞きした職場の雰囲気を重視される方が多くなっていると感じています。

これからインターンシップや実習、見学などで学生が各事業所を訪れると思いますので、ぜひ、暖かい雰囲気迎え入れていただけるとありがたいです。また、採用パンフレットも完成し、京都を旅するガイドブックのような作りで協会を紹介しています。「京都で働く」ことの魅力や、京都の土地に根ざしてきた協会の姿を全国の学生さんにも伝え、これからより多くの仲間を増やしていきたいと思っています。

P.1

[トピック]
「人と京都と」
就職フェア最前線

P.2

[特集 1.]
2030VISION
構想プロジェクト
・スケジュールについて
・CREATIVE TEAM通信

P.3

[特集 2.]
・ノーリフティングケア
の推進
・定期巡回・随時対応型
訪問介護看護

P.4

・下坂厚の写真日記 #19
・まちプロ報告
人が集まれば、何かが起きる
・紫野マルシェ
京都市いきいきアワード
大賞受賞

2030VISION構想プロジェクト

皆さんの一つひとつの声を大事にしたいから 思い切ってスケジュール修正します！



2024年7月から開始した「2030VISION構想プロジェクト」の取組みについて、昨年11月以降、特に法人内職員同志の『対話』を重視して本格的に議論を進めてまいりました。

この『対話』は、法人の「今」と「これから」について、役職、職種関係なく、かつできるだけ異なる事業・分野に従事している職員が混ざり、対等に語り合ってもらい貴重な機会になりました。法人初の取組みは想定以上に職員の率直な声が変わる貴重な時間となりました。法人の組織体質や各種取組みに対する批判・苦言、等々、厳しい意見もありましたが、一方でこれからの法人への提言、可能性、取り組みたいこと等についても、たくさんの前向きな意見、思い、アイデア等をいただきました。

CREATIVE TEAM 通信



言葉を紡ぐ、ビジョンにつなぐ

協会の皆さんにご参加いただいたワークショップなどで集められた「言葉」の分析が始まっています。協会らしさを示すもの、皆さんが大切にしているもの、こうありたいという願いなど、まだ単語になりきらないモヤモヤとしたものも含めて、想像以上に、豊かな言葉が集まってきました。ひとつひとつ丁寧に受け止め、VISIONづくりに役立てていきます！

地域活動家 ライター
小松 理虔

この機会でご得られた職員の声、法人への意見は、多くの参加した職員にとって共感と発見、気づきの連続でもありました。このため『対話』は1月中旬に終了予定でしたが、『対話』に参加できなかった職員をできるだけフォローする必要があると判断し、同主旨の取組みを各施設・事業所を周り、“事業所（対話）キャラバン”として2月末まで計16回追加開催しました。

以上、『対話』が予定より延びたこともあり、「2030VISION」発表については、2025年4月1日を予定しておりましたが、もう少しお時間をいただき、職員からの貴重な意見が反映され、より洗練された“魂が込められたVISION”にしたいとの思いも募り、発表時期を2025年10月1日に延期することになりましたのでご報告いたします。

理事長 宮路 博



私たちの法人を知ること。

VISIONワークショップや対話セッションで、私たちは法人内の事業のこと、そこで働く仲間の想いなどをたくさん知ることができました。法人の中には、脚光を浴びる取組みもあれば、地道な取組みもあり、まだ知らないことがいっぱいあるのかも…と感ずることができました。

アソシエを通じて、その一つひとつに、ひたむきに取り組む仲間のことをお伝えしていくことで、皆さんに身近に感じてもらい、あなたの気づきやアイデア、想いを乗せた取組みとして一緒に進めていけることを願っています。

2025年4月1日～

ノーリフティングケアの推進

職員の技術習得を目指して！

皆さんはノーリフティングケアをご存知でしょうか？この言葉にどのようなイメージを持ちますか？リフトなどを使用するものですか？ノーリフティングケアの本質は機械を導入することではありません。

抱え上げない・引きずらない・力任せの支援をしないケアです。力任せの介護で生じるご利用者と職員の身体的・精神的負担を軽減させるものです。その先にはご利用者と職員の笑顔が見えてきましたね。それが「ノーリフティングケア」の本質です。



2025年7月1日～

西ノ京事務所 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

様々なご利用者のニーズに応える法人に

協会のスケールメリットの一つに、多様なサービスの提供が可能であることがあげられます。柔軟なサービス提供が可能なこの事業が、ご利用者のご家族の安心感につながる新たな選択肢となることを目指します！

今だから挑戦したい

「人材不足のこの状況で、なぜ新しい事業を始めるの？」「訪問介護があるのに、類似のサービスを始めるメリットがあるの？」そんな声もあります。介護人材の確保や訪問介護拡大の厳しさは、協会だけでなく社会全体の課題です。

今後も多くの市民が住み慣れた暮らしを続けられるために、私たちの法人に何ができるのか？その解決策の一つとして、定巡への挑戦を決断しました。定巡はご利用者の自立支援に着目し、その時々で必要なサービスを見極め、短時間でケアを行います。小さいエリアを少人数のスタッフで、地域に密着して事業展開するので、限られたマンパワーであっても効率よく多くの方にサービスを提供することができます。

ご利用者の生活に見直しが必要になった時、選択肢の一つとして定巡を考えてみてはどうでしょうか。これまでとは違ったカタチで、ご利用者が望む生活を実現できるかもしれません。

本部や準備室だけで、新しい事業は成功させられません。皆さんのご理解とご協力をお願いします！！



新規事業開設準備室



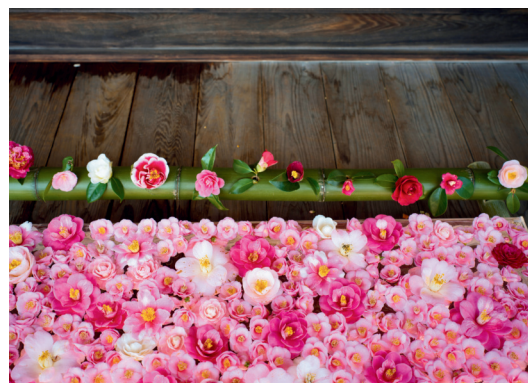
【西ノ京事務所】
3月下旬に移転予定



朝日新聞厚生文化事業団主催の講演に登壇させていただきました。認知症マフとは、認知症特有の症状から手元に不安を感じる人が触れたり手を通したりして落ち着けるように、色々な飾りを縫い付けた円柱型の手編みの小物です。イギリスや海外の病院や高齢者施設でも使われています。

編み物好きなボランティアの方たちが手作りして、病院や高齢者施設にプレゼントしています。

講演の中で、認知症の人にただマフを与えるだけではなく、マフを通じて認知症の人も周りの人も笑顔になれるコミュニケーションのツールになれば良いですねと会場の皆さんと意見を共有できました。



左京区 鹿ヶ谷にある霊鑑寺(れいかんじ)は、「椿の寺」としても有名です。

通常は非公開ですが、毎年3月後半の椿の花が咲くころに春の特別拝観として庭園や書院内部を公開されます。

庭園にはおよそ100種類以上の椿があり、開花時期も異なるため、訪れる時期によって違った椿の花が咲く様子を楽しめます。

今年は、2月初めの寒さからか例年より梅の開花も遅れており、椿の開花も遅れるかもしれませんが、カメラを持って霊鑑寺の椿を撮りたいと思います。梅や椿に桜など、綺麗な花を愛でながら春の訪れを感謝したいと思います。

人が集まれば、何かが起きる みんなでやろうが生まれるとき

まちプロ報告

タイトルは、西野山団地の住民さんが会議で言ったひと言。この言葉に、私たちはハッとしました。

多様な立場の人と共に「やってみようよ!」となるために、必要なのはやはり「対話」。リスクを明らかにし、やることで起きる「何か」の価値をみんなで言い合い、共有する。「みんなでやろう!」となれば、たとえ計画通りにいかなくても、信頼関係は生まれます。それは、私たちが思う価値ある「何か」。

小さな試みから、みんなでやろう!

まざる、住まう、はたらく、団地共生イノベーション始まる! 2月24日(月・祝) 京都市役所正庁の間

みんなでやろう!の取組みがまたスタートします。

8つの大学と企業、京都市、自治会が一緒になって、高齢化が進む団地の課題に取り組むワクワクするプロジェクト。8大学の学生が団地の部屋を協会の職員が住まう部屋にリノベーション!福祉職の人材確保や定着にもつなげます。

キックオフイベントの締めくくりは、「エイエイオー!」をみんなで。

今後の展開に、ご期待ください!



紫野マルシェ

毎月第3土曜日開催

“健康長寿のまち・京都いきいきアワード”大賞を受賞

京都市役所で行われた授賞式に、吉田みどりさん、脇倫子さんが参加し、マルシェ開催への思いを参加者の前で語りました。

「地域で好きな物のお買い物をして、ご家族とゆっくり過ごしていただく。その様な生活を施設に入っても実現していただけるよう、地域の方に協力を仰いで実施しています。これからも地域の皆さんと、この様な温かい環境で続けていきたいと思っています。」

「紫野マルシェ」はコロナ禍で地域社会との交流が途絶えたご入居者、デイサービスのご利用者が再び地域社会とつながる機会を設けることを目的として2023年から始まりました。

地域住民が手作りの商品を販売したり、就労支援事業所のお菓子やパンの販売、地域の駄菓子屋、アクセサリー店の出店等、様々な人々が参加できる地域に開かれたイベントとなっています。



GENBU.MURASAKI

ご利用者や、地域の皆さんとの交流の様子を発信しています!



健康長寿のまち・京都いきいきアワード

京都市情報館



Associé編集後記

表紙右上のイラストは「春の季語」。ここで一句、「山笑う 風と香りよ 未来(あした)へと」

毎年この時期から花粉に悩まされていましたが、ここ2年ほどはなぜか辛くありません。花粉症って自然に治る(たぶんそう)ことってあるんですね。(N)生成AIが作った音楽が面白いです。シティポップは歌詞、メロディとも「あるある」感満載です。気になる方はYouTubeで検索を。(A)

